



Sikafloor®-1430 Performance Flooring System
シーカフロア-1430
高光沢 水系硬質ウレタン塗り床システム

BUILDING TRUST



シーカフロア-1430

耐久性と優れた美装性を兼ね備えた塗り床材

シーカフロア-1430 シリーズは高い耐久性・衛生性・低臭性・耐薬品性を有し、更に美装性を兼ね備え、施工性にも優れた塗り床システムです。

シーカフロア-1430 は光沢タイプの水系硬質塗り床です。タイヤマークが付着しにくく、防汚性に優れていますので、食品工場をはじめ、機械工場、化学薬品工場などにも適しています。

耐久性

耐衝撃性・耐摩耗性に優れており、近年普及しているAGV(無人搬送車)の走行エリアに適しています。

低臭性

水系で有機溶剤を使用しておりません。食品工場の改修工事にも適しています。

防汚性

タイヤマークが付着しにくく、長期にわたり美装性を維持します。(定期的なメンテナンスは必要です。)

耐薬品性

種々の薬品に対して高い耐薬品性を発揮します。食品工場の洗浄や、化学工場で使用される化学薬品が使用される環境に適しています。

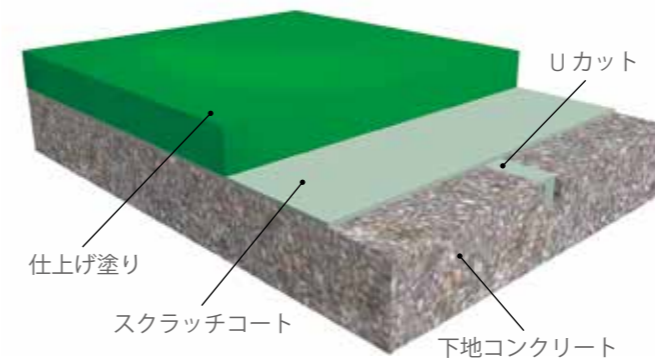


■ シーカフロア-1430 [4~6mm] | 流しのベ工法

高い耐衝撃性・耐摩耗性・防汚性を有し、重量物によって繰り返し衝撃を受けるエリア、フォークリフトが頻繁に走行するエリア、化学薬品を取り扱うエリア等に適しています。



- ① 厨房 ② 工場事務所 ③ 通路 ④ 倉庫 ⑤ 部品工場
- ⑥ AGV走行エリア



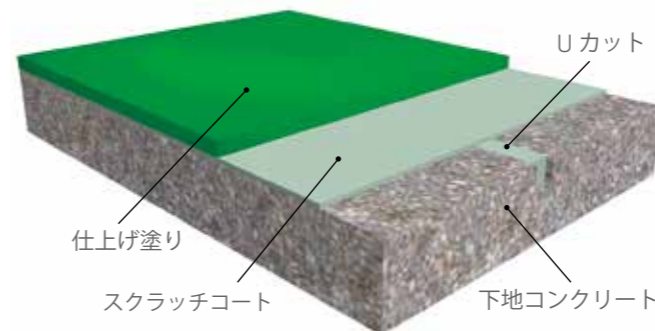
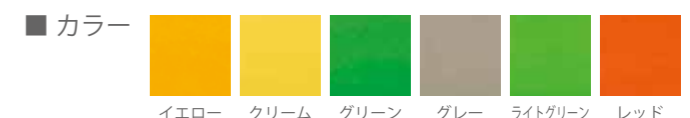
施工厚さ	スクラッチコート			仕上げ塗り		
	製品名	比重	施工厚さ	製品名	比重	施工厚さ
4mm	シーカフロア-P1430	1.69	0.4mm (0.6kg/m ²)	シーカフロア-1430	1.88	3.6mm (6.8kg/m ²)
6mm	シーカフロア-P1430	1.69	0.4mm (0.6kg/m ²)	シーカフロア-1430	1.88	5.6mm (10.5kg/m ²)

■ シーカフロア-1430 [薄塗りタイプ 2~3mm] | 流しのベ工法

シーカフロア-1430の薄塗りタイプです。シーカフロア-1430と樹脂部は共通で、骨材のみ薄塗り仕様です。耐摩耗性・耐薬品性・防汚性が要求され、耐衝撃性が要求されないエリアにご使用いただけます。



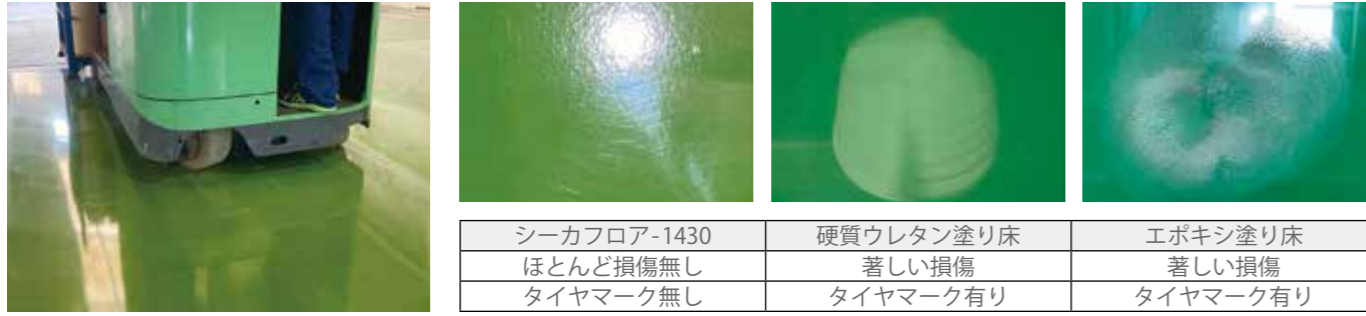
- ② 工場事務所 ③ 通路 ④ 倉庫 ⑤ 部品工場



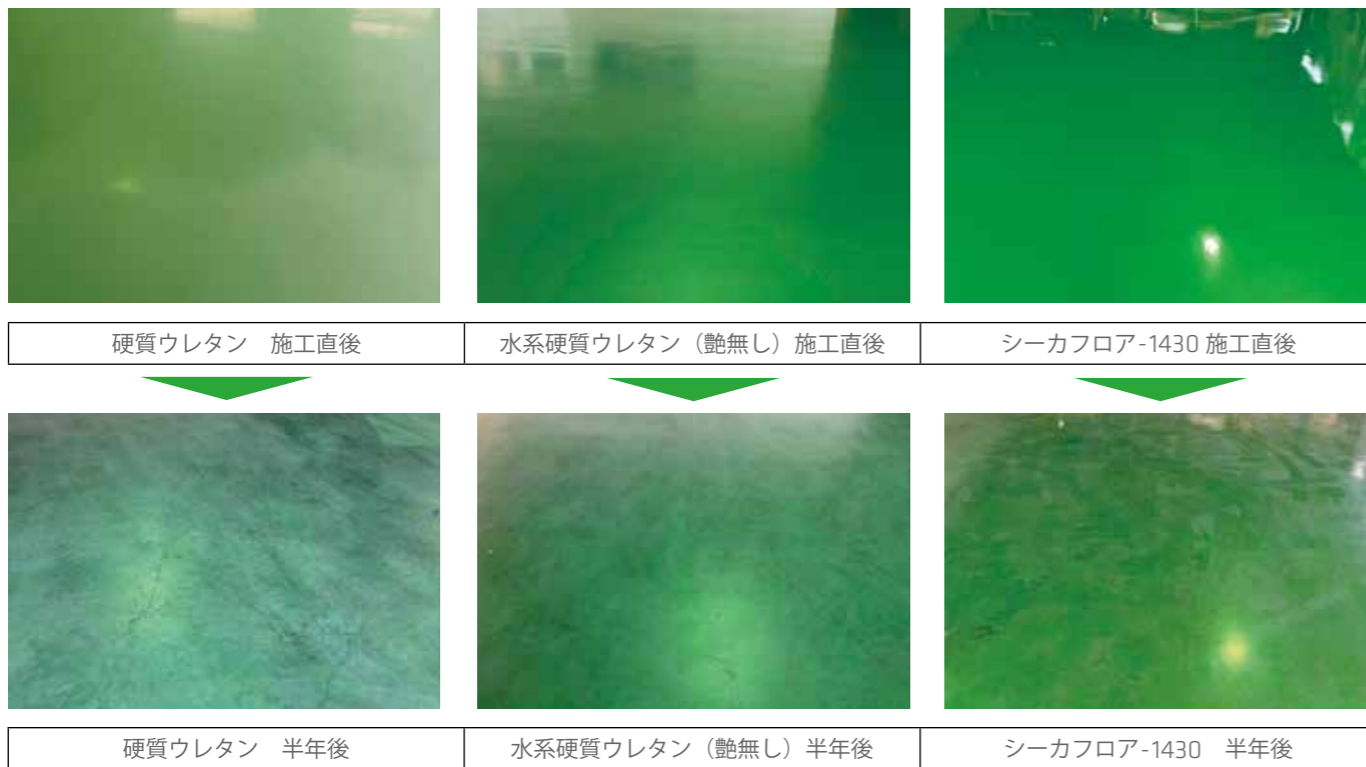
施工厚さ	スクラッチコート			仕上げ塗り		
	製品名	比重	施工厚さ	製品名	比重	施工厚さ
2mm	シーカフロア-P1430	1.69	0.4mm (0.6kg/m ²)	シーカフロア-1430 薄塗りタイプ	1.65	1.6mm (2.6kg/m ²)
3mm	シーカフロア-P1430	1.69	0.4mm (0.6kg/m ²)	シーカフロア-1430 薄塗りタイプ	1.65	2.6mm (4.3kg/m ²)

耐久性・美装性に優れたシーカフロア-1430

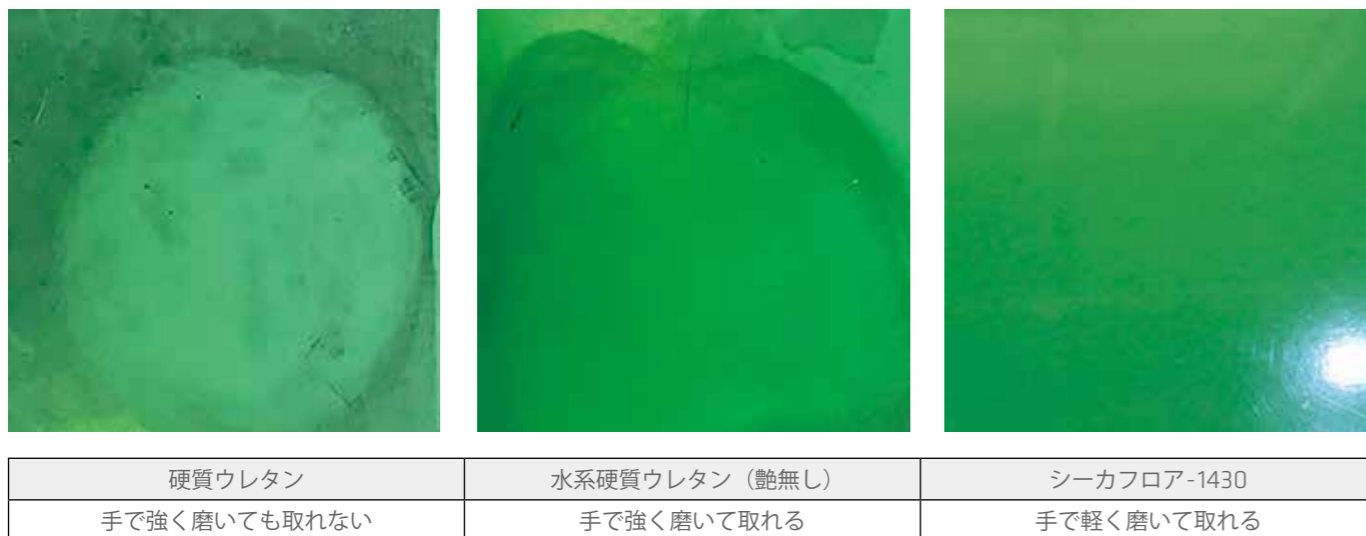
タイヤ据え切り試験 (リーチフォーク 1t, 180° 据え切り 10回)



タイヤマーク痕の状態 (フォークリフト毎日走行エリア)



タイヤマーク痕洗浄後 (中性洗剤+ウレタンフォームを使用して手で洗浄)



■ 性能試験データ

試験項目	評価方法	結果例		
		シーカフロア-1430	シーカフロア-1430 薄塗リタイプ	
光沢度	20° 光沢	83	84	
ショア D 硬さ	JIS K 7215	80	78	
曲げ強度 (N/mm ²)	JIS R 5201	18.9	24.4	
圧縮強度 (N/mm ²)	JIS R 5201	51.8	52.9	
引張強度 (N/mm ²)	JIS K 6911	7.79	9.51	
接着強度 (N/mm ²)	建研式接着力試験機	1.5 以上 (下地破断)	1.5 以上 (下地破断)	
テーパー摩耗試験 (mg)	JIS K 7204, 1000g CS17	45.7	32.0	
耐衝撃性	NNK-002 (落球試験)	4mm : 100 回以上 6mm : 100 回以上	2mm : 80 回以上 3mm : 90 回以上	
滑り抵抗係数 (C.S.R')	JIS A 1455 (ドライ面、硬さ 72-80 厚さ 3mm ゴムシート使用)	0.52	0.46	
	JIS A 1455 (潤滑面、硬さ 72-80 厚さ 3mm ゴムシート使用)	0.58	0.52	
抗菌性 (抗菌活性値)	JIS Z 2801	大腸菌	6.1	-
		黄色ブドウ球菌	4.6	-
酸素指数	JIS K 7201	29.5	26.0	
ホルムアルデヒド放散等級	JIS K 5601 (規制対象外)	取得予定	取得予定	
揮発性有機物質 (VOC) 放散量	厚生労働省指針	定量下限以下	定量下限以下	
耐薬品性	JIS A 1454 準拠 48 時間スポット試験 ◎ : 変化なし ○ : 少しの変化 △ : 著しい変化	酢酸 10%	○	○
		アンモニア 10%	◎	○
		クエン酸 10%	◎	◎
		エタノール 100%	◎	○
		塩酸 10%	◎	◎
		乳酸 10%	○	○
		硝酸 10%	○	◎
		水酸化ナトリウム 10%	◎	◎
		次亜塩素酸ナトリウム 1%	○	○
		硫酸 10%	◎	◎
トルエン 100%	○	○		
キシレン 100%	◎	◎		

■ 荷姿

システム	適用	製品名	荷姿
シーカフロア-P 1430	スクラッチコート	シーカフロア-1430 Part A	3.0kg/ 袋 (透明パウチ)
		シーカフロア-1430 Part B	3.0kg/ 袋 (アルミパウチ)
		シーカフロア-P 1430 Part C	9.0kg/ 袋
シーカフロア-1430	仕上げ塗り	シーカフロア-1430 Part A	3.0kg/ 袋 (透明パウチ)
		シーカフロア-1430 Part B	3.0kg/ 袋 (アルミパウチ)
		シーカフロア-1430 Part C	15kg/ 袋
		シーカークリート Part 4	0.5kg/ 袋
シーカフロア-1430 薄塗リタイプ	仕上げ塗り	シーカフロア-1430 Part A	3.0kg/ 袋 (透明パウチ)
		シーカフロア-1430 Part B	3.0kg/ 袋 (アルミパウチ)
		シーカフロア-1430 v1 Part C	9.0kg/ 袋
		シーカークリート Part 4	0.5kg/ 袋
副資材	硬化促進剤	シーカークリート・アクセラレーター	10 ℓ / ポリ缶

注意事項

■■■施工現場・周辺の事前調査

施工条件は、塗り床材の種類の設定や下地処理の方法に大きくかわります。事前に施工現場およびその周辺の状況を調査し、シーカフロア-1430 が問題なく施工できるか、確認しておくことが重要です。

■施工時の温度

シーカフロア-1430 は温度によって作業条件が異なります。施工時には常に温度を測定し、作業条件を決めて施工する必要があります。温度の測定には次の点に注意してください。

- 温度は外気温だけでなく、下地温度も測定する
- 温度は時間帯によって差があるので、時々確認する（養生時の温度変化を予め推測しておく）
- 直射日光などにより下地の温度は異なる
- 特に改修時、施工周辺部に熱源があるか事前確認し、ある場合は運転による温度変化も考慮する

- 低温時
 - 温度が低くなるほど硬化速度は遅くなります。下地コンクリート温度が5℃未満の場合は施工の延期の検討をお願いいたします。やむを得ない場合は、ジェットヒーター等を用いて施工可能温度領域に調整してください。
 - 必要に応じて硬化促進剤を添加してください。詳細はシーカフロア-1430 施工要領書をご参照ください。
- 高温時
 - 温度が高くなると可使時間が短くなります。塗り継ぎ時に問題が生じないように注意してください。
 - 材料を冷やし、シーカフロア-1430 の施工可能温度領域になるように調整してください。

- 施工時の湿度
 - 相対湿度 80％ 以上の高湿度下では、原則作業を中止してください。
 - やむを得ない場合は、送風機で空気を循環させ、結露防止対策をして施工してください。
 - 結露により白化現象（アミンブラッシング）が発生し塗り重ねをする場合は、付着性が悪くなり層間剝離となる恐れがありますので、表面を目粗ししてから塗り重ねしてください。
 - 湿度が 30％ 以下の場合、完全硬化に数日追加でかかる可能性があります。
 - 養生期間の確保、必要に応じて硬化促進剤を添加する等の対応が必要です。

- 換気
 - 下地処理時の粉塵対策が必要な時、簡易養生をした時など、必要に応じて換気を行ってください。
 - 施工中は十分に換気をしてください。

- その他施工環境
 - 特に屋外近くでは風によりゴミ・虫が付着したり、降雨により仕上がり不良が発生する場合があります。また高温、直射日光、強風環境下では、乾燥が速く、皮張り・膨れ・ひび割れ・ピンホールなどの不具合が発生する場合がありますので、施工部周辺の養生を実施し、風の強さや向きに注意をして施工してください。
 - 硬化が遅い条件（低温時）や下地コンクリートの温度変化が大きい場合（昼間と夜間の温度差が大きい場合等）は、硬化時間を考慮して施工してください。
 - 洗浄用のシンナーによる臭気、騒音、振動、粉塵により、近隣から苦情が発生する場合があります。施工時間帯、騒音や粉塵の程度を予め近隣に説明し、了解を得てから施工してください。

- 安全衛生
 - 材料の中には引火性のあるものや、体に有害であるものも含まれていることがあるため、取り扱いには十分注意が必要です。事故防止のため、ご使用前に「安全データシート（SDS）」を事前によく読み、施工前に教育を実施してください。
 - 材料の中には労働安全衛生法通知対象物および表示対象物を含有するものもあります。また、一部は化審法優先評価化学物質および化学物質排出把握管理促進法第1種指定化学物質に該当します。これらの製品を取り扱いの際は、必ず関連法令を遵守してください。
 - 材料の中には消防法における危険物に該当するものがあります。保管・貯蔵に際しては消防法の定めに従ってください。詳細は所管の消防本部または弊社までお問い合わせください。
 - 本製品には石綿（アスベスト）を含有いたしません。
 - 作業現場周辺には、関係者以外は立ち入らないようにしてください。
 - 取扱いに当たっては、適宜保護具（保護手袋等）を着用してください。
 - 飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ多量の水を飲ませた後、専門医の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合は、速やかに水と石鹼で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
 - 目に入った場合は、速やかに清浄な水で洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
 - 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた廃棄業者に処理を委託してください。
 - 一度開封した材料は、使い切ってください。
 - シーカフロア-1430 は、5℃～30℃の乾燥した屋内に保管してください。特にパート A、パート 4 については凍結させないように注意してください。

■■■下地調整

■下地の品質・状態

下地は塗り床材の基盤となる部分で、不適切な下地であると、はがれ、ふくれなどの原因となります。下地品質の確保は非常に重要です。改修工事の場合も床の種類によって適切な処理方法が必要となります。

- 下地の水分が多いと、下地との付着力の低下、剥離、水ぶくれが発生する場合があります。下地は十分な養生期間が必要です。
- ケツ水分計（HI-520）等の水分計で施工前に下地の含水率を必ず測定し、下地の含水率が 10％ 以下であることを確認してください。
- 条件を満たさない場合は、原則通風乾燥させてください。時間的な制約がある場合はバーナー・ジェットヒーターで強制乾燥させてください。
- 下地コンクリート強度は以下の条件を満たしている必要があります。

- ＊　建研式接着試験：1.5N/mm² 以上　圧縮強度：21N/mm² 以上　引っかき試験：0.1～0.3mm 以下（加圧力1.0kg)

- 下地コンクリート表層が脆弱で条件を満たさない場合は、研削機で撤去してください。
- 表層が硬すぎて緻密な場合は研削機で表面を目粗ししてください。
- 施工面に汚れ・錆があると付着不良や剥離をすることがあります。下地処理後も取れない油污れ等はもう一度下地調整を行うか、目地切り（カッター）を集中して多く入れてください。
- 下地に凹凸があると、下地なりの塗膜が形成され、外観きれいに仕上げることは不可能です。
- 2mm 以上の段違い、目違いが無いことが必要です。条件を満たさない場合は、研削機で平滑調整を行うか、シーカフロア-P 1430(必要に応じて4号珪砂追加)で下地調整してください。基本的にシーカフロア-1430 で不陸調整は出来ません。
- 下地コンクリートにはクラックが生じていることがあります。ひび割れが0.3mm 以下の場合はシーカフロア-1430 樹脂＋ミルコンあるいは白セメントを用いてパテ処理、0.3mm 以上の場合は Uカット（V カットは不可）を施してください。U カット処理をした場合は、目痩せ防止のため、出来る限り施工前日に塗りシーカフロア-P 1430 で充填してください。
- クラック周りのコンクリートが浮いている場合は撤去し、シーカフロア -P 1430 で充填してください。
- シーカフロア-1430 施工終了後に収縮クラック・構造クラックに動きが生じて、シーカフロア-1430 に割れ・ひび割れ（クラック）が生じる場合がありますので事前に元請と十分に協議し、処理方法を決定してください。
- 結露防止のため、下地は露点より 3℃以上高い状態である必要があります。

■下地処理

〈新築・改修共通〉

- シーカフロア-1430 は必ず目地切り（カッター）が必要です。
- 目地切りを壁周り・柱周り・端部・金物周り（50mm 以内の個所に）、施工範囲最大 16m 間隔以内、塗継ぎ部は両サイドに入れてください。
- U カット寸法は、巾、深さともに施工厚の 2 倍程度としてください。
- クラック部分の U カットは、目痩せ防止のため、出来る限り施工前日にシーカフロア-P 1430 で充填してください。

〈新築工事の場合〉

- 下地コンクリートの養生期間は、夏期は打設後 3 週間以上、冬期は打設後 4 週間以上設けてください。十分な養生期間や乾燥が出来ない場合は、接着不良等の不具合が生じる恐れがあります。
- 基本的に水平であることが必要です。
- 水を使用する床の場合は、水溜りができないように不陸がなく、勾配は 1/50 以下であることが必要です。
- 条件を満たさない場合は、塗床材シーカユークリートで調整してください。水勾配はシーカユークリートでは適切に処理できないことをご承知おきください。
- 設備、金具、建具などはシーカフロア-1430 の厚さを考慮して納まっていることが必要です。
- 床レベルが高い場合は金具等周りの落とし込みを施してください。
- 床レベルが低い場合はシーカフロア-P 1430(必要に応じて4号珪砂追加)で調整してください。
- これらの処理はコストアップとなるため、事前に元請とご相談してください。

- 下地に金属部が存在する場合、たわみ・歪みが無く、平坦で勾配が 1/50 以下である必要があります。さらに接合部に目地違い、ふくらみ、へこみ等がなく、滑らかで錆がなく、塗料やその他の汚れ等が付着していないことが必要です。
- シーカフロア-1430 は金属に付着はいたしますが、金属の歪みに対して追従できずに剥がれる場合があります。
- 下地調整材から剥離するケースがありますので、セメント系下地調整材はシーカフロア-1430 の下地には適しておりません。

〈改修工事の場合〉

- 付着性・平滑性・汚れなどの問題から、既存仕上げ材は完全に撤去することが理想的です。
- やむを得ず、現場状況によっては、劣化部分のみを撤去して塗り重ねる場合があります。その場合、既存仕上げ材の状態を十分に確認する必要があります。既存塗膜端部と既存塗膜内に目地切り（カッター）を多く入れる事も必要です。
- 強化コンクリートの場合も、基本、完全撤去してください。やむを得ず撤去出来ない場合は、U カットを多く入れてください。撤去せずに施工した場合、重走行個所で剥がれが発生する可能性がありますのでご注意ください。
- ワックス処理面の場合、除去剤・ポリッシャー・水洗いで除去し、十分に乾燥させてください。
- 錆・油・ホコリ・カビ等は必ず除去してください。

■■■施工方法

■練り混ぜ

シーカフロア-1430 は反応硬化型です。混合割合、混合順序等を順守してください。温度によっては環境温度の整備、材料の攪拌時間に注意してください。環境温度によって練り混ぜ時間が異なる場合があります。詳細はシーカフロア-1430 施工要領書をご参照ください。

■施工

- パッチ割
 - 短手方向にパッチ割を行ってください。
 - マーキングは付着防止やブリード防止のため、チョークラインとしてください。
 - 特に仕上げ塗りの時は施工厚み毎にセット当たりの施工面積を確認し、1セット毎に塗布してください。

- 塗布
 - スクラッチコートは、下地コンクリート面にしごき塗りをしてピンホールが出ないように施工してください。
 - 目地部目痩せとピンホール対策として、スクラッチコート後、速硬エポキシ樹脂で目痩せ部分やピンホール部分を処理してください。エポキシ樹脂硬化後、次工程を行ってください。
 - 仕上げ塗りは、スクラッチコートが十分に硬化（タックフリー）した後に所定の厚みになるようコテ塗りをしてください。
 - スパイクローラーをかける際は、巾 10cm 以上オーバーラップしないようにしてください。
 - 仕上げ塗りは、スクラッチコート施工後 48 時間以内に行ってください。48 時間以上経過した場合は、スクラッチコート表面を目粗ししてください。
 - 仕上げ塗りの塗り継ぎは 10 分以内を実施してください。

- 塗布中の留意事項

〈共通〉

- 窓がある場合は直射日光が当たらないように養生してください。（膨れ対策)
- 塗り継ぎが出ないようにパッチ割してください。
- 練り場の位置に注意してください。（極力塗布エリアに近く）
- 施工中はエアコン等施工面に風を当てないようにしてください。
- 各材料の練り上がり温度に注意してください。
- 横運び時、材料を落とさないように出来る限り台車を使用してください。
- 缶内の材料は速やかにパッチ割通りに撒いてください。
- 缶内に材料を残さないように全て出してください。
- 可使時間に留意して速やかに塗布してください。
- 缶は 5 パッチ以下で取り替えるようにしてください（環境温度によります）。

〈低温時〉

- 材料置き場は寒く冷えるところに設けないようにしてください。
- 材料は出来るだけ温めるようにしてください。パート B は過剰反応につながる恐れがありますので注意してください。
- 開口部がある場合は、外気の冷たい空気が入らないように養生してください。
- 環境温度に応じた練り混ぜ時間を厳守してください。
- スクラッチコートの硬化を確認してから仕上げ塗りを行ってください（膨れ対策）。
- 硬化養生時間を十分に確保してください。

〈高温時〉

- 材料置き場は直射日光が当たらない涼しい場所に設けてください。
- 材料は氷水、空調、保冷車等で冷やしてください。ただし、結露が発生するまでは冷やさないようにしてください。
- 開口部がある場合は、外気の暖かい空気が入らないように養生してください（膨れ対策）。
- 必要に応じて ½ セットなど分割して施工を行ってください。

■■■養生と引渡し

■養生

- 工程間隔
 - 次工程の際、前工程が硬化している必要があります。36 時間以上放置すると層間付着力が低下する恐れがあります。36 時間以上経過した場合は、目粗しを行ってください。
 - 温度が低い場合、硬化のための養生時間を十分に確保してください。
 - 湿度が高い場合、結露の有無を確認し、結露した場合は目粗しを行ってください。

- 養生時間
 - 養生時間の目安は、養生時間 15 時間で歩行可能、36 時間で軽作業車の走行可能、72 時間でフォークリフト走行可能です。（温度 15℃～25℃）

■■■施工後の注意点

- 黄変
 - シーカフロア-1430 は直射日光により著しく黄変します。屋外や直射日光の当たる場所には施工しないでください。
 - 紫外線を含む水銀灯、蛍光灯、白熱電球照明下でもご使用時間経過と共に黄変します。特にグレー、クリームは短時間で黄変します。なお、黄変による耐久性への影響はございません。

- 仕上がり（美装性）
 - 高温時や材料練り混ぜ後に材料を他のパッチよりも放置した場合等、その個所だけ艶や色異なって見えることがあります。出来る限りパッチ毎で同条件（温度、練り混ぜ条件、練り混ぜ後から施工までの時間等）で施工するようにしてください。

- 落下物や引っ掻きによる傷
 - シーカフロア-1430 は高い硬度・耐摩耗性を有しておりますが、重量物が落下したり、鋭利な異物で引っかいた場合、表面に欠けや引っかき傷が発生する場合があります。

- ゴム汚染・タイヤマーク
 - シーカフロア-1430 は、タイヤやゴム製品と長時間接触するとゴム汚染を生じることがありますのでご注意ください。

■■■メンテナンス

シーカフロア-1430 の施工終了後、維持管理の仕方や頻度によって耐久年数や美装性も変化します。管理上で重要な要素としては、以下の点が挙げられます。それらを適切な方法で行うことが重要です。

■■日常の清掃方法

日常の手入れ（清掃）とは、日単位など短い周期で行う清掃業務を言います。

※完全にシーカフロア-1430 の養生が完了していないうちに水洗いされることで白化などの外観不良が起こる場合があります。

- 除塵：ほうき、フロアダスター、真空掃除機で塵を除去してください。
- 洗浄：水や中性洗剤を用いてモップなどで汚れを除去してください。
- 油・薬品：油や薬品は、付着した場合は直ちに適切な方法で除去してください。
- 殺菌：次亜塩素酸ソーダなどの水溶液で殺菌洗浄を行ってください。

■定期清掃方法

定期清掃とは、月単位など長い周期で定期的に行う清掃業務をいい、清掃業務については、強固な汚れを除去したり、専門的なメンテナンス要領を伴うため、専門業者に依頼することが望めます。

- 強固な汚れの除去

ポリッシャー（各種パッド）・床用クリーニング機器・高圧洗浄器・モップ・デッキブラシなどを使用し中性洗剤で洗浄してください。

■■薬品を使用する環境下の場合

- 高濃度の薬品がこぼれた場合、ただちに水洗いをして水を完全に除去してください。
- 日単位で床面を水洗いし、薬品の床面における蓄積を防止してください。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、製品がユーザーの意図する施工方法および目的に達しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート、テクニカルデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート、テクニカルデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければご提供いたします。

2023年4月1日より、シーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートしました。
2024年10月1日より、ボソリス ソリューションズ株式会社はシーカ・ジャパン株式会社に統合されました。

シーカ・ジャパン株式会社

東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー 7F
TEL. 03-6433-2101
製品などのお問い合わせ窓口：03-6434-7291
<https://jpn.sika.com>

BUILDING TRUST

